



か
今から
学生



大人のための教育プログラム

i-Design

アイ デザイン

コミュニティカレッジ

- ▶ 地域創生
- ▶ こころの科学
- ▶ 多様な世界との対話
- ▶ 社会人のためのデータサイエンス基礎

2025



公立大学法人
北九州市立大学

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

70th Anniversary Logo



i-Design コミュニティカレッジ
塾長 松尾 太加志

Message

今の自分と違う自分と出会いませんか。

今の仕事について何年たつでしょう。今の生活スタイルになってどのくらいの時が過ぎたでしょうか。毎日変わらないルーチンで過ごす日々。それはそれで充実しているでしょう。少し考えてみてください。いつも変わらない自分に、今のあなたと違う自分を。

違う自分？それは、新しい場に自分を置かないとわからないでしょう。新しい学びの場にはあなたを変えてくれる魅力があります。違う自分への入り口です。「i-Designコミュニティカレッジ」で新しい学びに出会い、自分自身をデザインし直してみませんか。新しい仲間と、そして新しい自分と出会えるチャンスです。

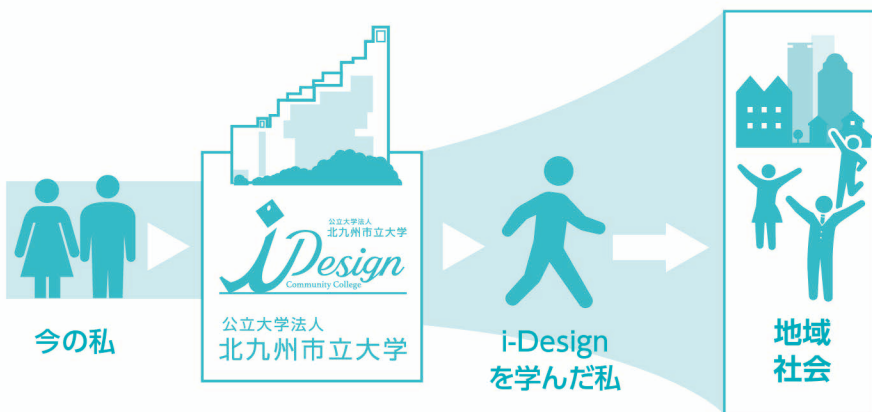
Concept

Point 1

自分の人生を切り拓く挑む力の再確認

Point 2

地域や社会との関係性を的確に捉え、リーダーやコーディネーターとして活躍するステップに



ゼミなど対話型授業



講義のイメージ



図書館内に履修生サロン設置



入学式は一般学生と同時開催

選べる4つの領域と学修内容



地域創生

～この街はあなたの学びをまわっている～



西田 心平 教授
地域創生学群長

自らの持つ知識と経験を活かしながら、「地域の再生と創造」に向けた知識や手法を専門的に学んでみませんか。本領域では、地域の課題解決に必要な知識やノウハウの習得、また現場での実践的な学びを通じて、地域で活躍するために必要な力を身につけ、一年後、地域の持続的発展を支えるリーダー、あるいはコーディネーターとして活躍することを目指します。

領域科目
基礎

●科目名 **地域創生実践入門**

開講時間 **木曜 1限目 9:00～10:30**

地域創生学群の教員がオムニバスで地域創生に関する講義を行います。地域が抱える課題について深く考えると同時に、地域活動を行う際に求められる課題発見力や企画立案力、またチームでプロジェクトを進めていくための手法や考え方など、様々な知識やスキルを修得していきます。地域創生学群に在籍する学生の取り組みや地域で活躍するNPOの活動なども紹介します。

領域科目
演習

●科目名 **地域創生実践演習**

開講時間 **木曜 1限目 9:00～10:30**

地域の再生と創造に求められる課題を発見し、その解決に向けて実際に取り組んでいきます。仲間とチームを組み、お互いに協力しながら活動を行っていくことで地域創生に必要な知識やスキルを身につけていきます。最後に自らの活動成果を公表します。

i-Design科目(履修例) **市民活動論、地域文化論、地域の達人、共生社会論 など**



こころの科学

昼夜開講*

～こころを探究する～



松尾 太加志
名誉教授



松本 亜紀
教授

心理学は、実験や調査等の自然科学的アプローチによって、人間のこころを探究する実証的な学問です。知覚、感覚、認知、記憶、学習、発達、障害、組織、集団といった様々な分野を研究対象としています。本領域は、心理学に関する基礎的な理論や知識をもとに、心理学の概要に触れる入門編です。

領域科目
基礎

●科目名 **行動の科学**

開講時間 **昼クラス/木曜 3限目 13:00～14:30 夜クラス/水曜 6限目 18:00～19:30**

人間は日常生活において様々な行動を行っています。心理学は、それらの行動の観察を通して、こころの成り立ちや仕組みを解明しようとする学問です。この科目では、対人行動やコミュニケーション行動、知覚・認知行動等に焦点を当て、人間のこころとは一体、どのようなものなのかについて考究します。

領域科目
演習

●科目名 **心理学研究**

開講時間 **昼クラス/金曜 3限目 13:00～14:30 夜クラス/水曜 6限目 18:00～19:30**

1学期「行動の科学」で取り上げた人間行動の中から、各自希望する1つのテーマを取り上げて研究を行います。各自の研究資料の発表にもとづいて討論を繰り返しながら、自分の研究テーマを掘り下げて熟考を重ね、レポートを作成します。

*昼クラスまたは夜クラスに所属して学びます。両クラスを跨っての受講はできません。 *昼クラスと夜クラスとでは担当教員が異なるため、授業内容も異なります。

i-Design科目(履修例) **一般心理学、対人心理学、発達心理学、心理学概論Ⅰ、心理学概論Ⅱ など**

履修生の声 Voices of Students

**地域の課題解決や活性化への
ヒントやアイデアが満載！
実践に活かせる学びを得ています。**

高校卒業後、北九州市内の工場に就職した私は、大学への憧れがあり、「定年退職後は公開講座に行こう」と考えていました。色々と調べ中でi-Designコミュニカレッジを知り、受講を決意。現在、自治会長やVリーグ所属の地域女子バレーボールチームの営業職を務める私にとって、「地域創生」領域での学びは現場で役立つヒントが満載です。高齢化が進む地域の課題解決策やスポーツを通じた地域活性化の手法など、ぜひ実践に活かしたいと考えています。

地域創生領域 中野 邦弘 さん



履修生の声 Voices of Students

**新たな挑戦として受講を決意！
知的な好奇心が刺激される日々
です。**

選暦という節目を迎え、新たな挑戦をしたと考えたのが受講のきっかけです。これまでの社会人経験を通じ、人とのコミュニケーションの大切さを感じて心理学に興味を持ち、「こころの科学」領域を選択しました。先生方や同期の履修生の志、意欲の高さに感動しています。大学生と交流する機会もあり、若者たちのエネルギーに触れると本当にわくわくします。素晴らしい人々とふれ合い、知的な好奇心が刺激される楽しい日々を送っています。

こころの科学領域 昼クラス 岡本 美規 さん



履修生の声 Voices of Students

**向上心あふれる仲間との交流や大学生
との学び、新たな発見に刺激を受けて
います。**

定年退職後、再び勉強への意識が高まり、地域の民生・児童委員としての活動に役立てたいと考え、興味深い学問であり、特定日の昼間の勤務と両立可能な夜間クラスがあるこの領域を選択。認知心理学は人の行動から心の働きを考える学問ですが、人の行動は脳の指令に基づくため、脳に関する講義も充実しています。脳科学はAIの論理に似ていて、長年コンピュータ会社に勤務した私にはとても興味深いです。大学生と共に学ぶ楽しさ、新たな発見や学び直そうとする向上心あふれる人々との交流を通じて、刺激的な日々を過ごしています。

こころの科学領域 夜クラス 佐藤 彰洋 さん





多様な世界との対話

～あたらしい世界のミカタ～

現実の世界には多様な背景と価値観を持った人びとが生きています。それらの人びとをどう調和させていくべきかが、現代社会の大きな課題です。ジェンダー平等やLGBTQ+、障がいをもつ人などの国内的な問題にくわえ、人種や民族問題などの国際的な話題について、複数の異なる専門性をもった教員がみなさんと一緒に考えていきます。



CREASER, Fiona
教授



神原 ゆうこ
教授



中尾 泰士
教授

領域科目 基礎 ●科目名 **新たな世界への扉**

開講時間 **金曜 2限目 10:40～12:10**

日本における女性の社会進出やジェンダー問題、人種や民族問題などのトピック、文学作品やメディア表現にみられることばとジェンダーなどについて、それぞれの専門性を持つ複数の教員によるオムニバス形式でみなさんと一緒に考えていきます。多様な現代社会を生きるために必要な大人の教養を身につけることを目指します。

領域科目 演習 ●科目名 **異文化間コミュニケーション研究**

開講時間 **金曜 2限目 10:40～12:10**

1学期に学習した内容を踏まえながらテーマを選び、グループに分かれてより深く学びます。

i-Design科目(履修例) **Gender and Communication Studies、異文化理解の基礎、ジェンダー論 など**

好きな時間・好きな場所で学べます!
原則
オンデマンド
開講



社会人のためのデータサイエンス基礎

～データを基に世界を読み解く～

国が定めたAI戦略2019において、「多くの社会人が、基本的情報知識と、データサイエンス・AI等の実践的活用スキルを習得できる機会の提供」が求められています。現在あるいはこれからのキャリアを意識し、情報技術を駆使したデータ解析に関する知識とスキルを習得し、世界を正しく見るスキルを身につけましょう。



中武 繁寿 教授

領域科目 基礎 ●科目名 **Pythonプログラミング** 開講時間 **フォローアップあり(オンライン又は対面) 火曜 19:00～20:30 ※参加自由**

本領域では、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できるための基礎的な力を身につけるため、自らデータを入手し、データ処理、可視化、分析を行うためのPythonプログラミングの基礎を学習し、統計学の基礎的な知識とスキルを習得することを目指します。

領域科目 演習 ●科目名 **データ解析演習** 開講時間 **フォローアップあり(オンライン又は対面) 火曜 19:00～20:30 ※参加自由**

1学期のPythonプログラミングで習得する基礎スキルを活用し、Python環境に基づくデータ解析の演習を行います。例として、統計データ分析コンペティション(<https://www.nstac.go.jp/statcompe/index.html>)の過去の受賞論文を題材にして、受講生の修学目的やレベルに合わせて、指導を行います。

i-Design科目(履修例) **環境問題特別講義、確率・統計論、データサイエンス入門 など**

履修生の声 Voices of Students

多様な視点に触れられる環境の中で、自らの視野を広げ、成長する機会を得ています!

これまでライフプラン支援をテーマに講演や相談業務を行ってききましたが、世の中の人権意識の高まりの中で、多様性理解やジェンダーについて深く学びたいと思い、この領域を受講しました。各分野の専門家による講義が受けられ、双方向型の意見交換ができる点が非常に魅力的です。履修生・教職員・修了生との交流もあり、様々な価値観や視点、考え方に触れられる環境の中で、視野を広げ、新たな洞察とともに成長するよい機会を得ています。

多様な世界との対話領域 **木曾 真紀**さん



履修生の声 Voices of Students

丁寧な指導があり初心者でも安心! オンデマンド型講義なので仕事との両立が可能です。

今、社会全体でリスキリングや学び直しが目立っています。私の勤務先もこれを積極的に支援しており、私は「ベテランとして率先して新たな挑戦に取り組みたい。業界特有のビッグデータの活用に貢献したい」と考え、受講を決めました。魅力は、少人数制による丁寧な指導です。初心者でもプログラミング等の基礎を学習できるよう、手厚くサポートされています。仕事の都合で出席が難しいときでも、オンデマンド型講義で学び続けることができ、とても助かっています。

社会人のためのデータサイエンス基礎領域 **亀田 洋美**さん



履修生の声 Voices of Students

仕事人間から“学ぶ社会人”へ。自分史づくりを通じて自分の未来をデザインしています。

これまで仕事人間だった私は、年齢を重ね世代交代の時期を迎え、“学ぶ社会人”に変わりたいと強く思うようになりました。「学問と人生」領域を選んだのは、説明会で先生が仰った「自分史とは、自分の未来をどうするかを考えるために書くもの」という言葉に感銘を受けたからです。実際に過去の出来事を振り返ることで、自らの考えを深掘りし、多くの気づきを得ました。それを今後にどう活かすか、今、人生100年時代を生きるためのヒントを探しているところです。

学問と人生領域 **田尻 憲昭**さん



※科目の選択については、必要に応じて担当教員がアドバイスします。※補職等は、2024年10月現在。※2025年度は、学問と人生領域の履修生を募集しません。

プログラムの特徴

1 選べる4つの領域とオリジナル科目の開講

専門領域を「地域創生」、「こころの科学」、「多様な世界との対話」、「社会人のためのデータサイエンス基礎」の4領域から選択でき、当コミュニティカレッジのためにデザインされた領域科目(ゼミ・論文指導)が受講できます。講義で修得した知識をコミュニケーションを通じながら具体的に実践し、発展させていきます。

2 多彩な科目・講義内容

少人数の対話型授業(必修)と多彩な講義(選択)をご用意しています。

※当コミュニティカレッジ履修生の特典として、本学の公開講座を無料で受講できます。

3 履修証明制度

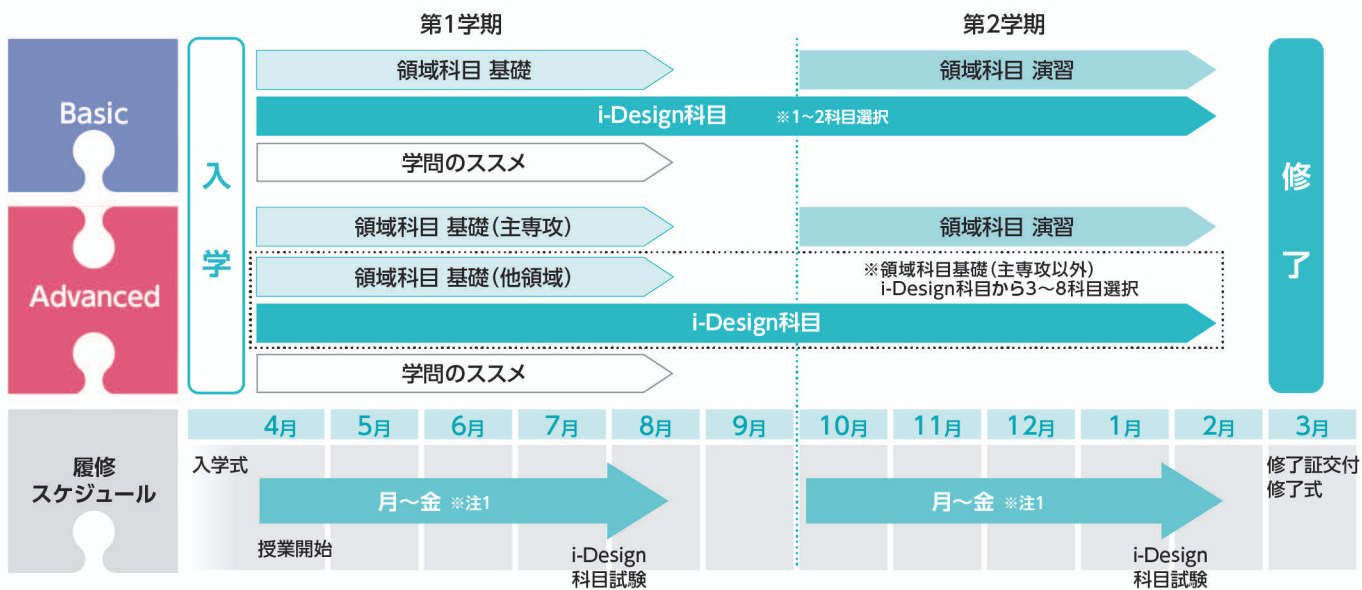
文部科学省が推奨する学校教育法にもとづく履修証明書を交付します。これは社会人等の学生以外の方を対象として、人材育成像に応じた体系的に編成した教育プログラム修了者に対して発行する証明書であり、履歴書にも記載できます。

4 学部・大学院とのつながり

i-Design科目(科目等履修科目)を履修し、単位を修得すると、本学の学部・大学院に入学する際、単位認定されます。※一部条件あり(お気軽にお尋ねください)

履修の流れ

専攻を1領域選択し、その分野を追究していく **Basicプログラム** と、主専攻に加え、他の領域やより多くの分野の多彩な講義を履修できる **Advancedプログラム** の2つを設けています。(「社会人のためのデータサイエンス基礎」領域はBasicプログラムのみとなります。)



※注1 「社会人のためのデータサイエンス基礎」領域は原則オンデマンドとなります。

科目構成

● 領域科目

➡ 基礎(ゼミ)

当コミュニティカレッジオリジナル科目。興味・関心のある分野の基礎を学び、専門的なものの見方や考え方を養います。

※Advancedプログラムは主専攻以外の領域からも選択可

➡ 演習(論文指導)

「基礎」での専門的な学修をふまえて、さらに掘り下げるとともに、担当教員の指導のもとに、履修生と意見を交わしながら、論文(レポート)を作成します。

➡ i-Design科目(学部/大学院)

一般学生と一緒に受講する学部科目・大学院科目(科目等履修科目)から興味・関心に応じて選択します。(※大学院科目については一定の基準あり)

また、「社会人のためのデータサイエンス基礎」領域では、社会人のみを対象とした科目(社会人専用科目)からも選択することができます。

➡ 学問のススメ

全領域共通のガイダンスです。大学でのアカデミックな学びの基礎として学問に必要な、文献の探し方、レポート・論文の書き方、プレゼンテーションの手法などの知識や技法を修得します。その後様々な学問分野の「知」を履修し、視野を広げます。





募集要項

- ※1) 領域科目基礎・演習は同一領域の科目を履修します。
- ※2) i-Design科目は1科目2単位を想定して表記しています。
- ※3) 大学を卒業した方又は大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方は、本学学生の履修がある大学院科目等履修科目を受講することができます。(一部例外あり)

		Basic プログラム	Advanced プログラム
科目数	領域科目 基礎 ※1	1科目必修 (1学期)	
	領域科目 演習 ※1	1科目必修 (2学期)	
	i-Design科目 ※2	1~2科目選択 (年間)	3~8科目選択 (年間) (※3の条件を満たす場合、大学院科目を選択可 主専攻以外の領域科目基礎(1学期)は1科目まで選択可)
修業年限		1年間	
時間帯 (祝日除く)	領域	1・2学期 / 木曜日 ● 9:00~10:30	
	地域創生	(昼クラス) 1学期 / 木曜日 ● 13:00~14:30 2学期 / 金曜日 ● 13:00~14:30 (夜クラス) 1学期 / 水曜日 ● 18:00~19:30 2学期 / 水曜日 ● 18:00~19:30	
	こころの科学	1・2学期 / 金曜日 ● 10:40~12:10	
	多様な世界との対話	原則オンデマンド(フォローアップあり) ※参加自由 1・2学期 / 火曜日 ● 19:00~20:30	
出願資格		25歳以上	
授業料(年額)		94,800円	189,600円
選考		志望理由書の提出および面接 (応募多数の場合は、志望理由書等による書類選考を実施する場合があります。)	
修了要件		年間6単位以上、必修4単位を含む	年間10単位以上、必修4単位を含む



Q&A

Q 週にどれくらい大学に通うことになりますか？

A Basicプログラムでは週1~2日程度、Advancedプログラムで週2~4日程度が目安となります。あくまでも目安ですので、ご自分のライフスタイルに合わせて時間割を設定してください。

Q i-Design科目はどうやって決めたらよいですか？

A 皆さんが希望される領域や分野をもとに、担当教員がご相談に応じますので、お気軽にお尋ねください。

Q i-Designコミュニティカレッジを修了すると単位が修得できますか？

A はい、修得できます。i-Design科目内の科目等履修科目の単位を修得した(試験・レポートなどで一定の成績を修めた)方で、希望される方には「学業成績及び単位修得証明書」を交付します。

Q i-Designコミュニティカレッジの履修生になると、大学の施設利用が可能ですか？

A 申請を行っていただき、申請要件等を満たした場合は利用可能です。予約等詳細は事務局にお尋ねください。

Q 授業料の分割納入はできますか？

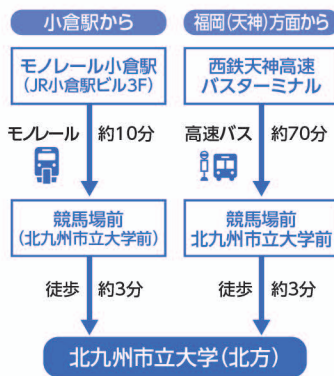
A 半期ごとに分割納入が可能です。

Q 車で通学できますか？

A 通学は原則として公共交通機関を利用してください。公共交通機関での通学が困難な場合には、事務局にご相談ください。



アクセス



北九州市立大学 ダイバーシティ宣言

北九州市立大学は、地域の教育・研究・地域活動の拠点として、学生、教職員、地域住民をはじめとする、大学にかかわるすべての人々の多様性や個性を尊重し、ダイバーシティの推進に取り組むことを宣言します。

2022年1月6日
北九州市立大学 学長



公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

お問い合わせ 北方キャンパス 企画戦略課
〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方4丁目2番1号
TEL: 093-964-4195 Email: k-kikaku@kitakyu-u.ac.jp

